

科目	整形外科学	担当	安倍 基幸	履修学年	2年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

整形外科学は、人体の骨・関節・筋肉等の運動器系を主に診療研究するものである。このため対象とする範囲は極めて広く、かつ多くの疾患がリハビリテーションと関連している。講義の概要としては3～4名の教員が分担し、教科書・配布資料を用いて整形外科学の基礎を教育する。授業の目標は整形外科額の基礎知識と疾患の病態生理・概念を身につけることである。

**【履修注意】**

講義内容や順番が変更される場合もある。遅刻や授業中の私語は無いようにする。

**【評価方法】**

筆記試験、出席状況、授業態度で評価する。

**【試験について】**

筆記試験をおこなう。期末試験の受験資格は出席2/3以上とする。

再試験対象者の条件：成績が60点未満の者

**【予習・復習】**

予習は要しないが、復習は要する。各コマで90分程度の復習を要する。

**【教科書】**

書籍名：標準整形外科学(第13版) 著者：中村俊孝 他・監修 出版社：医学書院  
(本教科書は関連する他の科目でも使用することがある)

**【参考書】**

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	整形外科の基礎	基礎医学・診断学・治療学
2	関節リウマチ・辺縁疾患	関節リウマチの診断治療
3	骨軟部腫瘍・代謝性・先天性疾患	腫瘍性疾患・他
4	頸椎の疾患	頸椎の疾患, 病態, 治療
5	上肢1	肩関節の疾患, 病態, 治療
6	上肢2	肘関節の疾患, 病態, 治療
7	上肢3	手関節の疾患, 病態, 治療
8	上肢4	手指関節の疾患, 病態, 治療
9	上肢5	手指関節の疾患, 病態, 治療
10	胸腰椎	胸腰椎の疾患, 病態, 治療
11	下肢1	股関節の疾患, 病態, 治療
12	下肢2	股関節の疾患, 病態, 治療
13	下肢3	膝関節の疾患, 病態, 治療
14	下肢4	膝関節の疾患, 病態, 治療
15	下肢5	足関節の疾患, 病態, 治療
16	期末試験	15コマの復習・確認・総まとめ